

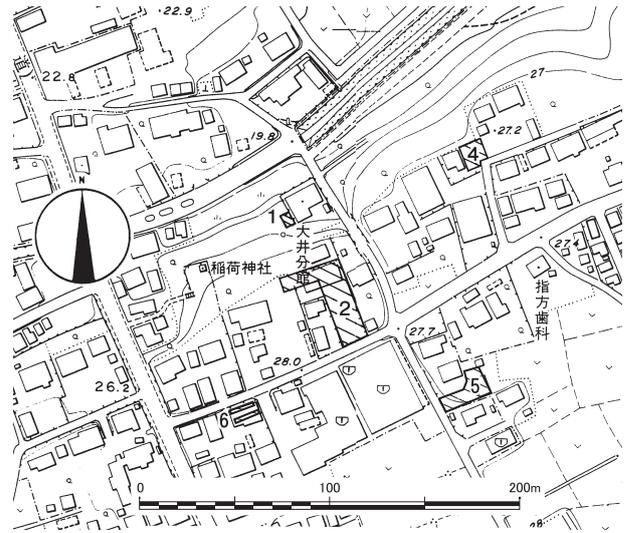
第21章 大井戸上遺跡の調査

I 遺跡の立地と環境

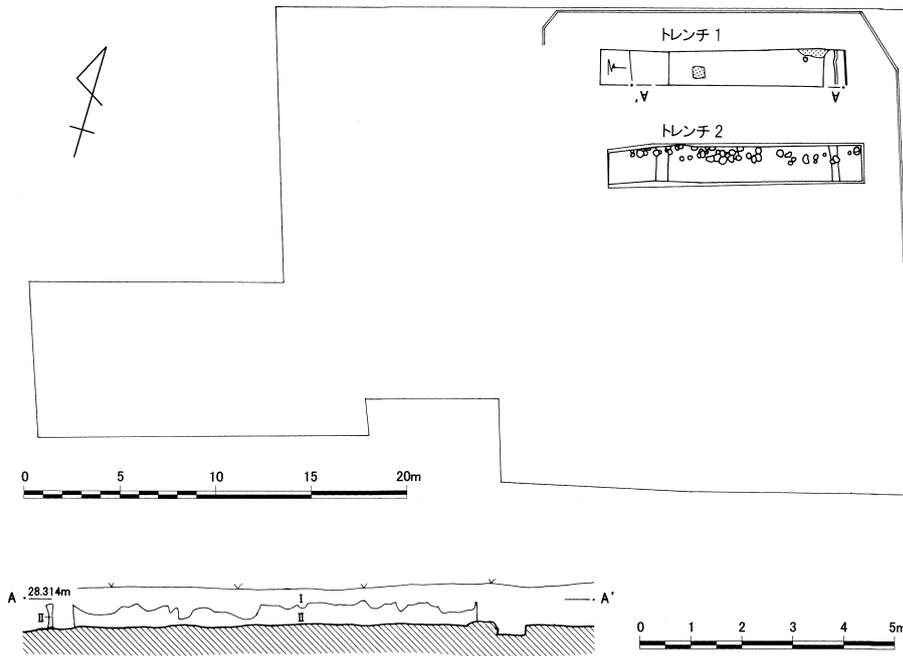
大井戸上遺跡は、東武東上線ふじみ野駅の南西約1.4km、砂川堀の右岸で標高26~28mの台地上に位置する。砂川堀は狭山丘陵外縁に湧水を成し、武蔵野台地上を南西から北東に流れて新河岸川に合流する。東台遺跡同様砂川堀との比高差は約7~8mで急崖をなし、左岸は緩やかな傾斜を成す。遺跡の範囲は東西200m、南北100m、遺跡面積約25,000㎡である。

周辺の遺跡は、砂川堀の対岸に大井氏館跡遺跡、同一崖線上の上流に西台遺跡、下流に東台遺跡と続く。

本遺跡は1989年に初調査以来、2008年2月現在までに6地点で試掘調査が行なわれた。第1、2、4地点の調査では旧石器時代の礫群と石器群を検出した。西台遺跡から東台遺跡まで崖線上に連綿と旧石器時代の遺跡が存在していることになる。また、第2・3地点では崖線に沿って時期不明の溝跡を検出している。



第68図 大井戸上遺跡の地形と調査区 (1/4,000)



- I. 黒褐色土・暗褐色土・黄褐色土
表土・耕作土・イモピツ
- II. 暗褐色土 締り有、粘性有、ソフトロームブロック多く、暗褐色土ブロック・黒褐色土ブロックやや多く含む、柵列ピット群の基盤層

第69図 大井戸上遺跡第6地点遺構配置図 (1/400)、土層図 (1/150)

II 大井戸上遺跡第6地点

(1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より2008年2月5日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の中央部に位置するため、申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため試掘調査を実施した。試掘調査は2008年3月25日から28日まで行なった。幅2mのトレンチを2本設定し、重機による表土除去後、人力による表面精査を行ない多数のピットを確認した。旧石器時代の確認調査は行っていない。

写真撮影・遺構測量等記録保存を行なったうえ埋め戻して調査を終了した。出土遺物はない。

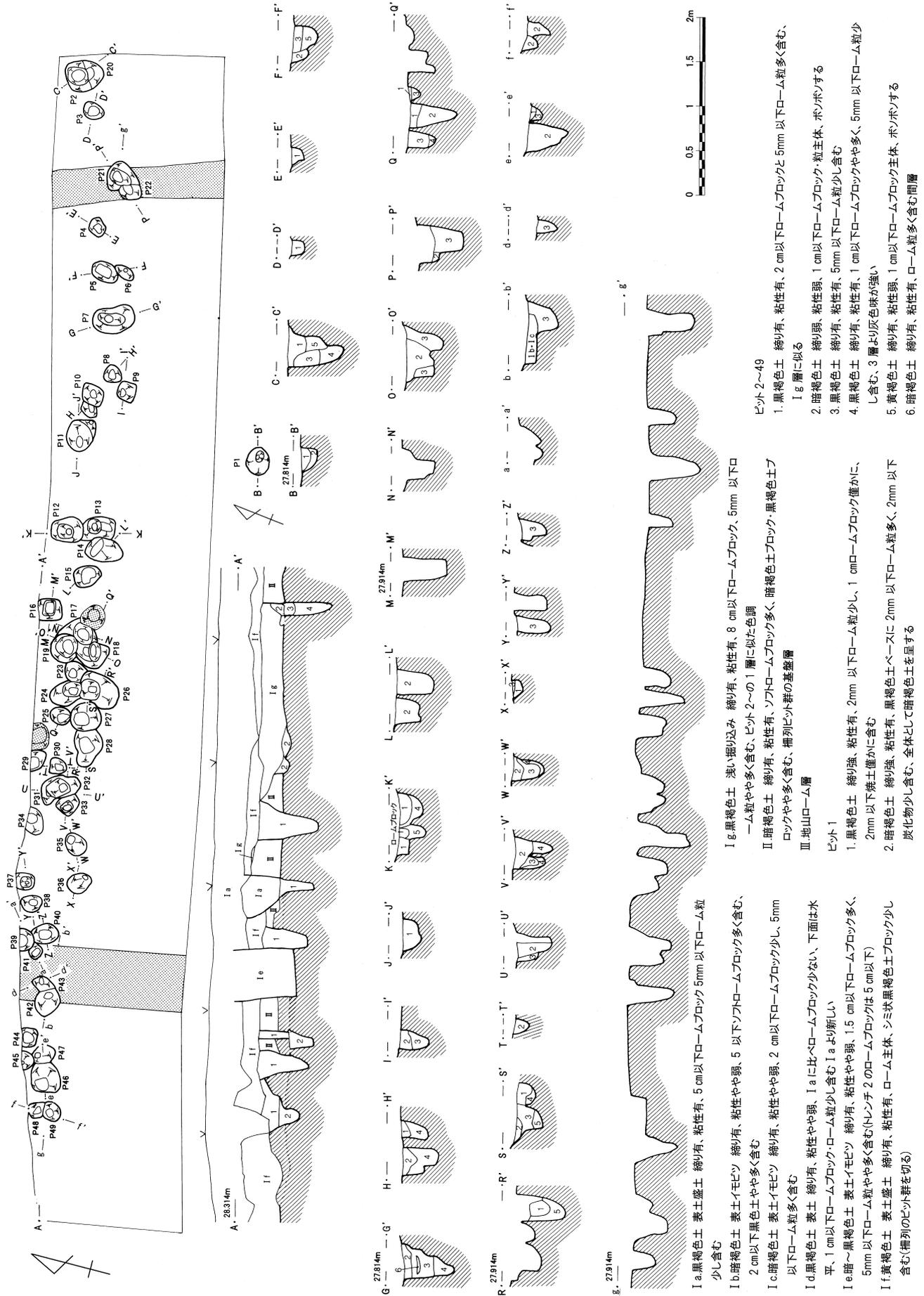
(2) 遺構

【ピット】トレンチ2で東西方向に並ぶピット49基を検出した。近世以降のものとみられる。

第44表 大井戸上遺跡第6地点ピット一覧表

(単位cm)

No.	平面形態	確認面径	底径	深さ
1	円形	31×24	6×3	33.2
2	方形	36×(24)	16×12	58.4
3	方形	24×19	13×11	18.3
4	方形	22×18	12×10	16.2
5	方形	31×21	18×11	28.0
6	楕円形	24×12	4×4	26.0
7	方形	48×30	10×8	60.1
8	円形	21×20	12×8	34.0
9	方形	26×24	8×7	22.9
10	方形	40×25	10×7	47.4
11	円形	36×30	12×8	31.6
12	方形	36×26	7×5	40.7
13	楕円形	44×(24)	9×6	32.8
14	楕円形	43×27	24×9	53.9
15	方形	32×22	18×17	33.5
16	方形	25×25	13×8	53.6
17	方形	32×(22)	17×11	32.8
18	不明	38×(30)	15×6	39.4
19	方形	(32)×32	18×12	49.1
20	不明	35×(18)	12×(8)	39.7
21	方形	38×35	14×11	52.5
22	方形	24×(17)	(10)×9	27.1
23	不明	(24)×23	10×9	27.6
24	方形	40×26	10×9	64.0
25	円形	24×20	15×10	34.2
26	方形	49×34	9×7	60.0
27	方形	34×32	17×15	36.3
28	方形	41×31	18×16	36.1
29	方形	25×16	12×(11)	9.2
30	方形	18×17	9×7	20.5
31	方形	37×22	12×10	39.1
32	方形	-×20	-	-
33	方形	24×21	10×7	37.7
34	不明	31×22	13×11	39.8
35	方形	26×22	10×7	49.1
36	楕円形	30×22	7×4	26.5
37	方形	20×19	12×12	31.5
38	円形	24×20	10×7	41.7
39	不明	25×(16)	14×-	29.6
40	方形	29×22	14×11	34.5
41	方形	15×(14)	10×7	25.2
42	方形	33×26	9×7	49.5
43	楕円形	26×16	10×4	28.6
44	方形	22×(16)	14×12	25.1
45	不明	22×(14)	4×(2)	20.9
46	方形	35×32	16×15	39.8
47	方形	26×20	7×6	24.5
48	方形	18×17	12×7	18.0
49	方形	23×20	8×8	26.0



第70図 大井戸上遺跡第6地点ピット(1/60)

I g. 黒褐色土 浅い掘り込み 締り有、粘性有、8 cm以下ロームブロック、5mm 以下ローム粒や多く含む、ピット2-への1層に似た色調

II. 暗褐色土 締り有、粘性有、ソロロームブロック多く、暗褐色土ブロック 黒褐色土ブロックやや多く含む、棚列ピット群の基盤層

III. 地山ローム層

ピット1

1. 黒褐色土 締り強、粘性有、2mm 以下ローム粒少し、1 cmロームブロック僅かに、2mm 以下炭土塵かに含む

2. 暗褐色土 締り強、粘性有、黒褐色土ベースに2mm 以下ローム粒多く、2mm 以下炭化物少し含む、全体として暗褐色土を呈する

I a. 黒褐色土 表土盛土 締り有、粘性有、5 cm以下ロームブロック5mm 以下ローム粒少し含む

I b. 暗褐色土 表土イモピツ 締り有、粘性やや弱、5 以下ソトロームブロック多く含む、2 cm以下黒褐色土やや多く含む

I c. 暗褐色土 表土イモピツ 締り有、粘性やや弱、2 cm以下ロームブロック少し、5mm 以下ローム粒多く含む

I d. 黒褐色土 表土 締り有、粘性やや弱、I a)に比べロームブロック少ない、下面は水平、1 cm以下ロームブロック、ローム粒少し含む I a)より新しい

I e. 暗～黒褐色土 表土イモピツ 締り有、粘性やや弱、1.5 cm以下ロームブロック多く、5mm 以下ローム粒やや多く含む(トレンチ2のロームブロックは5 cm以下)

I f. 黄褐色土 表土盛土 締り有、粘性有、ローム主体、シ状黒褐色土ブロック少し含む(棚列のピット群を切る)

ピット2~49

1. 黒褐色土 締り有、粘性有、2 cm以下ロームブロックと5mm 以下ローム粒多く含む、I g 層に似る

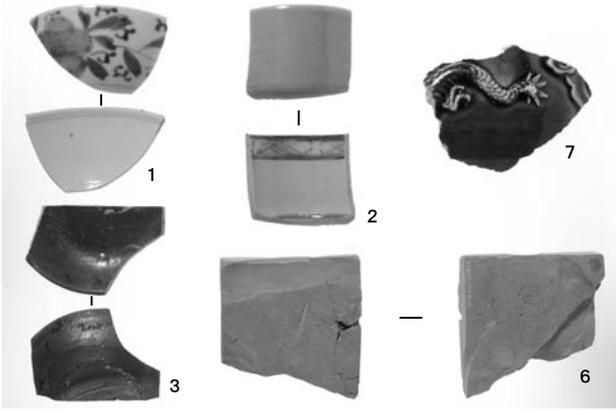
2. 暗褐色土 締り弱、粘性弱、1 cm以下ロームブロック、粒主体、ボンボリする

3. 黒褐色土 締り有、粘性有、5mm 以下ローム粒少し含む

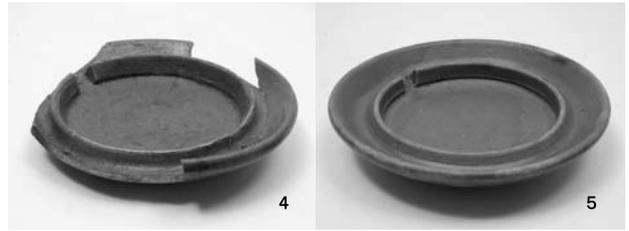
4. 黒褐色土 締り有、粘性有、1 cm以下ロームブロックやや多く、5mm 以下ローム粒少し含む、3 層より灰色味が強い

5. 黄褐色土 締り有、粘性弱、1 cm以下ロームブロック主体、ボンボリする

6. 暗褐色土 締り有、粘性有、ローム粒多く含む



大井氏館跡遺跡第22地点土坑2・礎石2・遺構外出土遺物No.1~3・6・7



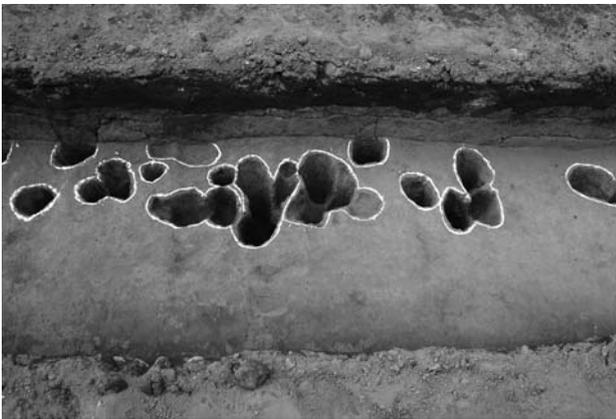
大井氏館跡遺跡第22地点土坑2出土遺物No.4・5



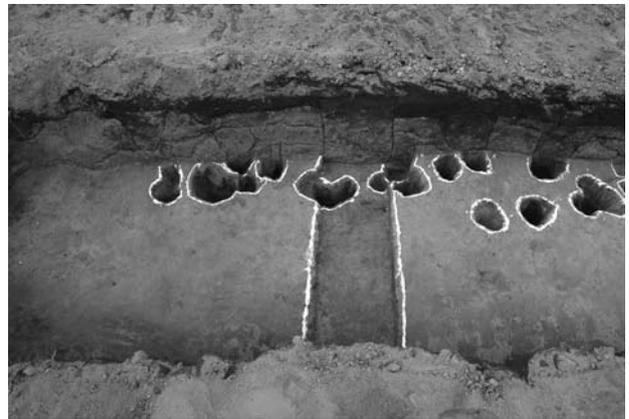
大井戸上遺跡第6地点試掘調査トレンチ



大井戸上遺跡第6地点ピット2~11・20~22



大井戸上遺跡第6地点ピット12~19・23~35



大井戸上遺跡第6地点ピット31~49



東台遺跡第49地点近景



東台遺跡第49地点近景（北側斜面調査区）